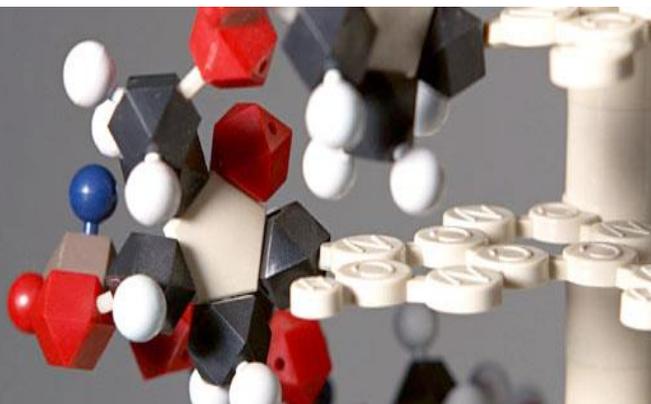


Frontier Spirit

～ 開拓者精神 ～



第86期 決算報告書

2022年3月1日～2023年2月28日

ご挨拶

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、当社は、この度第86期の累計期間の業績をとりまとめましたのでここに御報告いたします。

本年度当社の売上高は、前期に新規お取引頂いたお客様も多くあったおかげで上半期については増加傾向にありました。しかしながら、7月に行った小幅な値上げに対して地方の中堅既存ユーザー様の採用が競合他社に移行したため、下半期については、売上減少となり、最終的には、前年対比としてほぼ同じ売上高となりました。

また、期首の予想通り、秋より大幅な原料高に見舞われ、上記の内容から価格転嫁の判断に迷いが生じたため、下半期は、売上、利益とも減少傾向となり、今期総括しては、黒字であったものの、対策をうてないまま期末を迎えることとなりました。

2023年度もこの状況が当面続くと予想され、新年度については、減少傾向が継続されると思われまます。しかしながら、本年度に多くの新製品の開発に成功しており、これが、2023年度後半から、2024年度にかけて数字化されることが予想され、新年度については、あえて製造設備、試験装置、分析装置などの設備投資を行う予定です。

また、2022年度本年度、2021年度から行っておりました森河内の旧本社跡地に収益物件が完成いたしました。6月より収益が上がり、本年度は、償却経費との兼ね合いで収益はほぼ上がりませんが、2023年度より収益も上がる予定です。

上記の内容から、本年度の売上高は、前年に比べて1千万増加、0.8アップの12億3千5百万円となりました。また、売上総利益は、約1千5百万円減少、2.7%ダウンの5億3千2百万円となり営業利益は、約5千万円減少、約40%のダウンで7千5百万円となりました。

尚、本年は、大きな特別損失等がなかったため、税引き前当期純利益は、7千6百万円となり税引き後の当期純利益は、5千7百40万円となりました。

新年度は、原料高の価格転嫁が非常に厳しい年度になると予想されますが、新製品と新規ユーザーに注力し、従来の事業と新しい事業の再構築に力点を置いて運営を行ってまいりたいと考えております。

今後とも皆様のご支援を頂きながら、フロンティアスピリットで新たなる挑戦を社員一丸となって努めてまいります。

代表取締役 竹谷 裕人



577-0056

東大阪市長堂2-3-21 布施駅前ビル

株式会社 竹屋化学研究所

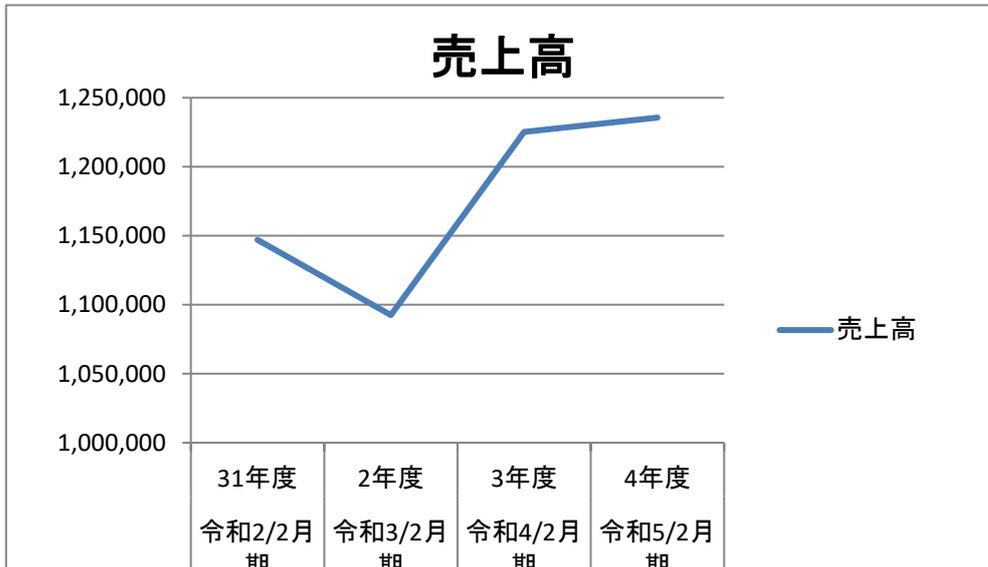
第86期 業績のご報告

財務指標の推移

売上高

(単位:千円)

年/2月期	令和2/2月期	令和3/2月期	令和4/2月期	令和5/2月期
年度	31年度	2年度	3年度	4年度
売上高	1,147,085	1,092,494	1,225,321	1,235,617



当期純利益

(単位:千円)

年/2月期	令和2/2月期	令和3/2月期	令和4/2月期	令和5/2月期
年度	31年度	2年度	3年度	4年度
当期純利益(税引き後)	33,431	51,576	31,486	57,420

